

第2章 仮想化ソフトウェアXenServerとは

これらは、同一のパッケージとなっており、ライセンスキーを入力することにより、各製品で提供している機能が開放されるしくみとなっています(図2.2, 表2.1)。

Express Editionは、もっとも下位に位置するパッケージです。しかし、64bitに対応したハイパーバイザーのもとで(仮想マシン上で)、WindowsやLinuxを動かすことができる点は、ほかのパッケージと変わりません。単一の物理マシンで仮想マシンを動作させるために必要な機能はすべて備わっています。

Express Editionのもっとも大きな特徴は、無償で使用できることです。

また、オープンソース版のXenと比較すると、インストールがたいへん簡単です。また、上位のパッケージへの移行も容易です。ライセンスキーを入手して入力することで、上位パッケージの機能が利用できるようになります。

Express Editionは、2008年3月の時点では、次のURLからダウンロードできます。

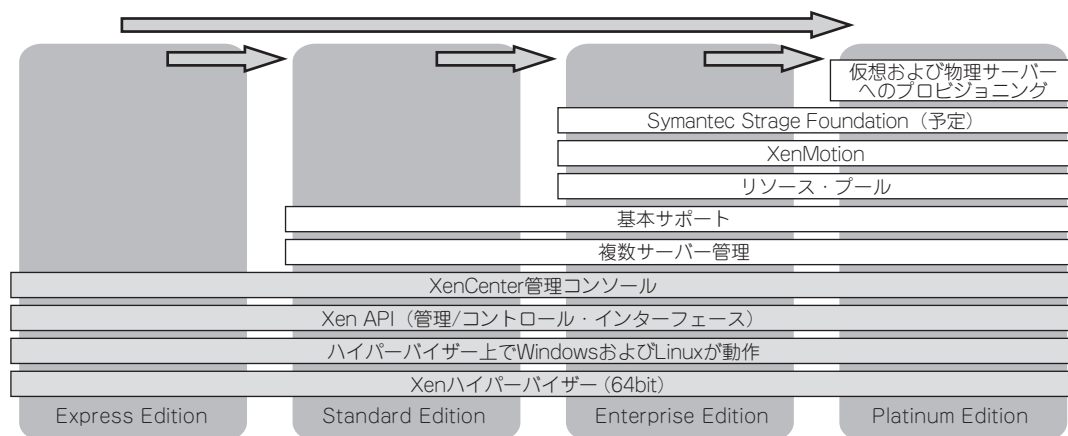


図2.2 XenServerのパッケージ

四つのエディションがある。すべて同一のパッケージとなっており、ライセンスキーにより、各製品で提供している機能が開放される。

表2.1 各パッケージの内容

価格、機能、サポートの有無が四つのエディションの違いとなっていることがわかる。

要 項	エディション	Express Edition	Standrad Edition	Enterprise Edition	Platinum Edition
CPUソケット		2	2	無制限	無制限
1台の物理サーバー上で同時稼動可能な仮想マシン数		4	無制限	無制限	無制限
1台の仮想マシンに割り当て可能なRAM		4 Gバイト	32Gバイト	32Gバイト	32Gバイト
リソース・プール		-	-	○	○
共有ストレージ (NFS, iSCSI)		-	-	○	○
XenMotion		-	-	○	○
VLAN		-	-	○	○
リソースQoS (CPU, ディスク, ネットワーク)		-	-	-	○
使用料		無償	有償	有償	有償